

# 投稿・掲載規定

(平成 28 年 11 月 24 日改正)

\*：項目を追加および改訂しました。

## I. 投稿について

内容：投稿論文は移植学の進歩に寄与する創意に富んだもので、他誌に発表されていないものに限る。

なお、他誌への重複投稿をしていないことの誓約書、筆頭著者ならびに共著者の同意書に必要事項を記載する。ただし、他誌に掲載された英文論文の和文化による再掲載、および本誌掲載和文論文の他誌への英文化再掲載 (secondary publication) については、別途定める基準によりこれを認めるものとする。

資格：①原則として著者は本学会会員とする。

②ただし、必要があれば編集委員会にて検討し決定する。

倫理：ヒトを対象とした論文は、世界医師総会 (World Medical Assembly) において承認されたヘルシンキ宣言の精神に則って行われた研究でなければならない。また、厚生労働省の倫理指針 (<http://www.mhlw.go.jp/gen-eral/seido/kousei/i-kenkyu/index.html#6>) および日本移植学会倫理指針 ([http://www.asas.or.jp/jst/pdf/kaisei\\_20071122.pdf](http://www.asas.or.jp/jst/pdf/kaisei_20071122.pdf)) を遵守するものでなければならない。

動物を用いた研究については『動物の愛護及び管理に関する法律』(昭和 48 年法律第 105 号)、『実験動物の飼育及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準』(平成 18 年環境省告示第 88 号)、『研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針』(平成 18 年文部科学省告示第 71 号)、『動物実験の適正な実施に向けたガイドライン』(日本学術会議策定)などを遵守して行われた研究でなければならない。

利益相反：

論文投稿 1 年前から投稿時までにおける利益相反の開示をしなければならない。筆頭著者が共著者全員に確認した上で同意書に自署することとする。利益相反がない場合は、本文末尾に「利益相反なし」と記載。利益相反がある場合は、本文末尾に事項の詳細を記載し、投稿時に利益相反自己申告書を編集委員会宛に提出すること。詳細については移植学会の利益相反指針を参照すること。

様式：

①投稿論文は、原著、症例報告、トピックス、Letter to Editor、依頼論文、その他とし、その種目別を明記する。

②原則として、原著は 10,000 字 (刷り上がり 8 頁)、症例報告は 6,000 字 (刷り上がり 5 頁) 以内にまとめる。また編集委員会が寄稿を依頼した、総説、展望、技術解説などは別に指定する。

③原著と症例報告の様式は、和文題名、所属、著者名、連絡先、英文題名、所属、著者名、英文要旨、索引用語 (英文、5 語以内)、本文、文献、図、表、図の説明の順に記述し、原稿には必ず頁を記載する。

④オンラインで完全公開にするという観点より、症例報告論文においては患者情報保護のため個人が特定できない表記とする。

例：手術日は「〇〇年〇月」までとし日を記載しない、年齢は「〇歳代」とする、等

⑤ワードプロセッサを使用し、A4 判用紙に見やすいレイアウトで印刷する。

⑥英文要旨は、原稿の第2枚目にダブルスペースで印字する。様式は、原著・総説においては、英文の「構造化抄録」(structured abstract, 下記文献参照)の形式をとる。原則として、以下の順で記載する。

原著・短報：Objective, Design, Methods, Results, Conclusion

総説：Objective, Data Sources, Study Selection, Data Extraction, Results, Conclusion の順とする。双方とも 250 words 程度とする。Design とは、case-series, case-control study, cohort study, randomized controlled trialなどを指す。

1) Haynes RB, Mulrow CD, Huth EJ, Altman DG, Gardner MJ. More informative abstracts revisited. *Ann Intern Med* 1990; 113: 68-76.

2) 青木 仕. Structured Abstracts の有効性. *医学図書館* 1995; 42: 317-324.

⑦研究会記録は、原則として移植医療に関係する全国レベルの研究会に限る。投稿に際しては、ファイル (Word 等) での提出とし、提出ファイルをそのまま PDF 変換したものを掲載する。図表は掲載しない。

書き方：

①本文中の英単語は固有名詞を除いてはすべて小文字に統一する。

②人名、その他の語句は英文または和文に統一する。薬名は英文一般名とし、標準的な略語のみを使用すること。商品名は括弧内に記す。タイトル中および抄録中においては、略語の使用は避ける。略語は、本文中でそれが最初に使用されるのに先立って、完全な用語を記述する。

③度量衡は cgs 単位を使用する。慣例上 cgs 単位以外を使用する場合には括弧内に cgs 単位に換算した数値を記入する。

④図、表は必要最小限にとどめる。表は Excel または Word の表として作成し、画像化しない。図版の原稿は、そのまま製版できるように作成する。図表はすべて別頁に 1 枚ずつ作成し、本文中に挿入箇所を指定する。なお、図として電子顕微鏡写真を使用する場合は、必ずスケールを入れることとする。図、表には (原則として和文の) タイトルおよび必要に応じて図説を付けることとし、図表とは別に本文末尾にまとめるものとする。

引用文献：

①文献は本文中に肩付けした引用番号順に配列する。

②英文文献の書式は国際医学雑誌編集者会議 (International Committee of Medical Journal Editors: JCMJE) により提案された『生物医学雑誌投稿に関する統一規定 (第4版)』(*N Engl J Med* 1991; 324: 424-428) に準拠する。

③文献記載例

雑誌の場合：著者名 (4名以上の場合は3名まで記載). 題名. 誌名 発行年; 巻: 始頁-終頁.

太田隆宏, 高木 健, 田口正巳, 他. ハムスター-ラット間の異種心移植における脾臓摘出の効果とその免疫学的機序. *移植* 1993; 28: 186-191.

Moses RD, You CH, Lee KY, et al. Induction of long-term survival of hamster heart xenografts in rats. *Transplantation* 1993; 79: 311-314.

なお、雑誌名の省略は Index Medicus に準拠する。

単行本の場合：著者名（4名以上の場合は3名まで記載）、章題名、編者名、書名、発行地、発行所、発行年：始頁-終頁。

筑波太郎. 臓器移植の将来. 木本綱政, 石橋 幹編. 21世紀における移植医療. 東京: 医書出版社, 1993: 100-130.

Weinstein L, Swartz MN. Pathologic properties of invading microorganisms. In: Sodemasn WA Jr, Sodeman WA editors. Pathologic physiology: Mechanisms of disease. Philadelphia: Saunders, 1993: 457-472.

校正：著者校正は原則として1回とし、校正は赤字で行う。

他誌からの転載：自著も含め他誌から転載および引用する場合は、採択決定後速やかに転載許諾を取得すること。

## II. 掲載について

採否：投稿論文掲載の採否は編集委員会の審査によって決定する。審査は複数の審査員による査読制とする。原稿の審査結果により、著者に改訂を求められることができる。編集委員会の審査結果は受理日の日付で著者に通知する。なお、国外で行った研究で外国人共著者がある場合は、その責任者の書面上の承諾書を必要とする。

掲載料：

①掲載原稿はすべて刷り上がり3頁は無料とし、それを超過した場合は、超過1頁当たり5,000円を著者の負担とする。なお、依頼原稿および研究会記録については別途定めるものとする。

②トレーニングを必要とする場合や特別の印刷技術を要する場合は著者の実費負担とする。

③別刷希望の場合は作成費を著者の実費負担とし、見積提示後、作成する。著作権：

会員は、本誌に掲載する著作物またはこれを原著作物とする二次的著作物の著作権およびこれら著作物の翻訳、翻案の権利を、信託財産として日本移植学会に移転するものとする。なお、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（CC BY-NC-ND）に基づき、複製または頒布することができるものとする。

## III. 原稿の送付

以下のいずれかの方法にて送付する。

①原稿（本文・図表）のハードコピー3部と、原稿を記録した電子メディア（CD、USBメモリ、SDカード等）および誓約書、同意書、利益相反がある場合は利益相反自己申告書（移植本誌巻末からコピーするか、日本移植学会ホームページよりダウンロード）を同封し、連絡先を明記して下記宛に簡易書留で送付する。

②原稿（本文・図表）ファイルおよび署名の上スキャニングした誓約書、同意書、利益相反がある場合は利益相反自己申告書を添付して下記メールアドレス宛に送信する（※受領確認メールが1週間以内に届かない場合は、電話にて確認すること）。

## 原稿の送付先

〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16

一般財団法人 学会誌刊行センター内 日本移植学会編集委員会

TEL : 03-3817-5821 FAX : 03-3817-5830 E-mail : ishoku-ed@capj.or.jp

## 【他誌への重複投稿はないことの誓約書】

論文カテゴリー：原著・症例報告・トピックス・Letter to Editor・その他( )

タイトル：

上記投稿原稿を，日本移植学会雑誌「移植」に投稿するにあたり，原稿の内容が国内外を問わず他誌に未発表であることを誓います。

年 月 日

筆頭者氏名： \_\_\_\_\_ (印)

## 【筆頭著者ならびに共著者の同意書】

論文カテゴリー：原著・症例報告・トピックス・Letter to Editor・その他（ ）

タイトル：

筆頭著者氏名：

(利益相反の有無： 有・無)

上記論文の日本移植学会雑誌「移植」投稿にあたり、論文の投稿・内容について、共著者全員の同意が得られていることを証明するため、共著者全員の自筆署名をここに提出いたします。

和文化再掲載としての投稿の場合は、「移植」の英文化再掲載基準に沿った投稿であることを誓約し、別途再掲載許可証、および当該英語論文リプリントを提出いたします。

また、著者全員の利益相反の有無を報告し、利益相反がある場合には別途規定の利益相反自己申告書を併せて編集委員会宛に提出いたします。

共著者名	(利益相反の有無)		
1.	(有・無)	2.	(有・無)
3.	(有・無)	4.	(有・無)
5.	(有・無)	6.	(有・無)
7.	(有・無)	8.	(有・無)
9.	(有・無)	10.	(有・無)

※不足の場合は本用紙をコピーしてお使い下さい。

【利益相反自己申告書】（学会誌投稿）

年 月 日

日本移植学会御中

論文タイトル：

筆頭著者： 所属  
氏名

申告該当著者： 所属  
氏名

上記の論文の日本移植学会誌「移植」投稿にあたり、利益相反事項について、下記のとおり申告いたします。

申告事項	金額（年間額）	当該の企業名等
① 役員・顧問職	100万円以上	
② 株	全株式の5%以上	
③ 特許権使用料	100万円以上	
④ 講演料	50万円以上	
⑤ 原稿料	50万円以上	
⑥ 研究費	100万円以上	
⑦ そのほか報酬	5万円以上	

※大学の寄付講座においては、当該施設において利益相反が回避されていると判断されている場合は申告の義務はありません。

※利益相反のある著者1名につき1通の申告書を提出してください。